

社会科

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に活用して調べ、まとめる技能を身に付ける。	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を養う。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第3学年	<p>ア・資料を扱っていないため、資料から必要な情報を読み取ることが難しい。</p> <p>イ・学んだ事実を基に、実生活と関連付けることが難しい。</p>	<p>ア・資料を活用することで、分からなかったことを知るということを体験させ、資料の有意義さを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を活用する場面を学習の中に意図的に増やす。</li> <li>資料の中で何に注目したらより有効であるかを見極める視点を与え、自分でも見付けられるように指導する。</li> <li>他の児童が気付いたことを共有できる場や時間を設ける。</li> </ul> <p>イ・社会的事象の共通点から考えられることを言語化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめるときには「○と▲は関係がある。つながっている」という話型を使う。</li> </ul>	9月～2月	<p>ア・資料の活用を繰り返し行ったことで、資料の有意義さを理解できるようになった。資料のどの部分に注目すればいいのか理解できるようになった児童も増え、活発な発言が増えた。発言での共有とともに、ICTの活用による共有も増えたことで、考えることが難しい児童も参考にしながら自分の考えをもてるようになってきた。</p> <p>イ・共通点から考えられることを言語化できる児童も増え、振り返りやまとめに書けるようになってきた。</p>
第4学年	<p>ア・必要に応じて資料を収集する力は付いてきているが、どの資料を選べばよいかや資料の活用には課題がある。</p> <p>イ・社会的事象に対して、多角的な見方をするには課題がある。</p>	<p>ア・資料に数多く触れさせ、それらをどう活用すると有効なのかについて指導することによって、資料の価値について気付かせ、自分なりの活用方法を見出すための指導を行う。</p> <p>イ・自分の生活を意識できるような単元の導入を行い、実際に外に出て社会に見られる課題を把握し、学習したことと自分の生活を結び付けて考える。</p>	9月～2月	<p>ア・社会科見学のまとめのように、実際に体験したことをまとめる活動を通して、資料による価値の違いに気付くことができた。</p> <p>イ・学習したことを自分事として考えるようになってきたが、実際の行動に移すまでには、さらに指導が必要である。</p>
第5学年	<p>ア・資料の内容を理解することはできるが、学習上の課題を解決するために必要な情報を読み取ることが難しい。</p>	<p>ア・調べる際に資料を読み取る視点を示し、情報全体の傾向を踏まえて事実や有用な情報を適切に掘めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統計や地図など、各種資料から必要な情報を収集、選択できるように、適切な情報を</li> </ul>	9月～2月	<p>ア・資料の活用を毎回の授業の中で繰り返し行ったことで、資料のどの部分に注目すればいいのか理解できるようになった児童が増えた。</p>

	<p>イ・一つ一つの資料から読み取った事実を、関連させて整理、分析し、考えることが難しい。</p>	<p>イ・どの資料からどのようなことが分かったのか、根拠を明確にして伝えるなど、主題に沿って効果的にまとめられるようにする。</p> <p>・一つ一つの資料から読み取れることを整理し、読み取った情報を関連付けて説明したり、それらを基に議論したりする。</p>		<p>イ・資料から事実を読み取り、そこからさらに、考えを広げることができるようになってきた。いくつかの資料を関連付けて考える児童も増えてきたがさらに指導が必要である。</p>
第6学年	<p>ア・資料から調べる目的に必要な情報を集め、読み取ったことをまとめることに課題がある。</p> <p>イ・資料から読み取った複数の情報を関連付けて考えることに課題がある。</p>	<p>ア・個人で調べた後に、調べた内容や調べ方、情報の適切なまとめ方について児童同士で共有する時間を設ける。</p> <p>イ・複数の資料を見比べたり、結び付けたりして読み取り、考えることができるような発問や板書を工夫する。</p>	9月～2月	<p>ア・学習課題に沿った必要な情報を集め、まとめることができるようになってきた。</p> <p>イ・毎時間調べてきた内容を再構成することで学習問題に対する答えを導くことができた。</p>

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p>
<p>3・4年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や動画機能を用いて記録することで効果的に情報収集を行う。【重点：個別】</li> <li>タブレット端末のインターネットを活用して、写真や地図などの画像や映像などの情報を収集する。【重点：個別】</li> <li>タブレット端末のロイロノート等を活用し、互いが調べた資料を共有したり、考え方を比較して話し合ったりする。【重点：協働】</li> <li>分かったことをロイロノートにまとめ、スライドを用いながら発表する。【重点：個別・協働】</li> </ul> <p>5・6年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や動画機能を用いて、多様な情報を効果的に収集する。【重点：個別】</li> <li>タブレット端末を活用して調べ学習を行う。【重点：個別】</li> <li>読み取った内容を整理・分類し、ロイロノート等を活用して記録したりまとめたりする。【重点：個別】</li> <li>学習を通して身に付けた知識・技能を、タブレット端末を活用して共有し、多様な資料や考えに触れられるようにする。【重点：協働】</li> <li>共有したことを基に話し合い、社会における課題を見出し、解決するための方法を考える。【重点：協働】</li> <li>ロイロノート等を活用して発表する。【重点：個別・協働】</li> </ul>	<p>全学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元末に学習問題について学んだことを振り返る時間を設定する。</li> <li>課題追究の段階で、自分の調べたことが予想や追究の視点とずれていないか確かめる時間を設定する。</li> <li>写真、拡大した地図、地球儀などの具体的に空間の広がりや位置関係が理解できるものを用意する。</li> <li>普段の会話から既習事項や時事問題等に触れ、学習内容を想起できるようにする。</li> <li>調べ学習や図表の読み取りでは、少ない情報から確実に読み取れるように個に応じて量を調節しながら提示し、積極的に学びに向かうことができるようにする。</li> </ul>

